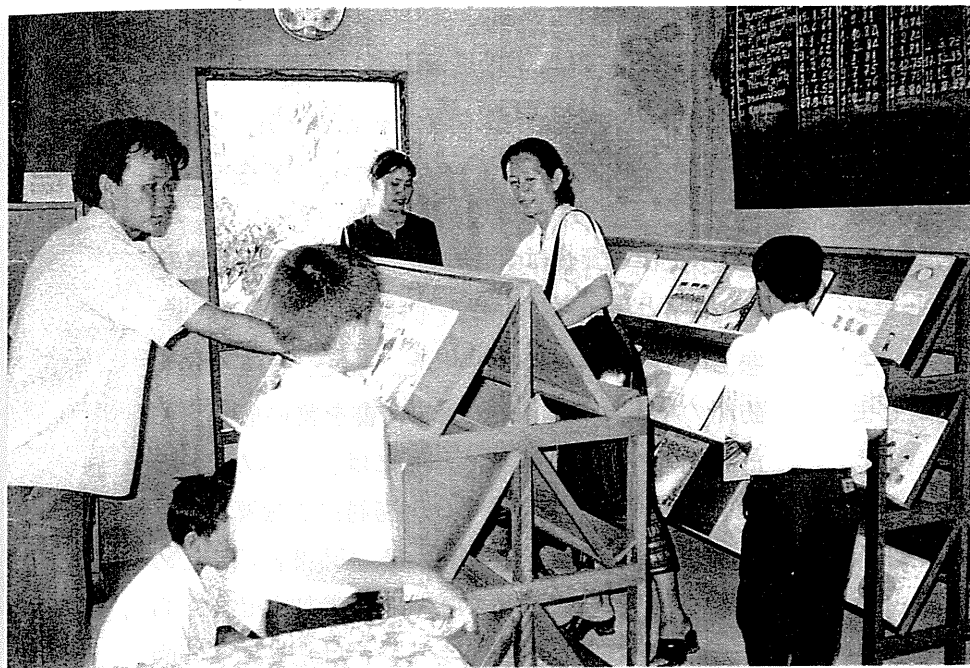




じゃっど会員の会費寄付で完成した壁、書架、そこへラオス語の本を並べる校長先生（右から2番目）先生、子供達

タットルアンカン小学校図書棟

8月21日にすこやかふれあいプラザ（第2会議室）において第8回じゃっど定期総会が開催されました。総会は、活動報告・決算、活動計画・予算ともに承認されました。ありがとうございました。

内容は別紙資料のとおりです。

また、川内郵便局の柚下雄二氏においでいただき国際ボランティア貯金の寄付金の配分先（国内225事業）、配分総額（約6億5千万円で昨年より約5億3000千万円減）などのお話をさせていただきました。

全国の各郵便局に情報誌があります。（NGO通信地球市民など）ご利用下さい。

総会報告

今回は、国際協力事業団（JICA）から、酒井マリさんをお迎えして講演会を同時開催しました。会員だけでなく、多くの方が来てくださいました。酒井さんの興味深いお話、ネパールの生活用品を「なんだろう」などグループで考える等、とても楽しい講演でした。来てくださった皆様、楽しくすごしていただいたと思います。

さて、じゃっどの活動ですが、去年は活動の評価を行いました。学校の先生の保健教育への取り組みしだいで、駆虫薬投与後の寄生虫の再感染を低く抑えられることが判りました。また、じゃっどのセミナーを受けても、60%の先生しか実際に授業にとり入れていないことも判明しました。今後のセミナーでは、「いかにして授業に取り入

れるか」を重視した講義、実習へと質の向上が必要と考えています。

質の向上を目的とした学校教師による視察を8月10日から8月20日で計画しすすめておりましたが、延期となりました。日本外務省から、ラオスへの渡航について2000年6月8日付けで「海外危険情報—注意喚起（対象地域拡大）」が発出されました。ヴィエンチャン市内で、爆弾事件が5件あり、ラオス南部ではタイ国境でラオスの反政府武装グループが入国管理事務所を占拠し、銃撃戦となり武装側が5名射殺されました。タイ北部では、銃撃戦が起こっているという人もいます。ラオス国内は情報が制限されています。タイからのテレビやラジオ（ラオス国内でも十分受信できます。）放送を訳してもらわなければ、判りません。7月初めに、私はヴィエンチャンに行きましたが、

その前日に起きたヴィエンチャン市内の爆弾事件を、タイにいた私は知っていましたが、ヴィエンチャンのラオス人、日本人の友人は誰も知らず、3日程して話が伝わってきました。

ヴィエンチャンに住んでいる友人達（日本人、ラオス人）は、視察を中止するほどの危険ではないとのんびりしていましたが、情報が無いためもあるのではと、私は逆に不安が大きくなりました。11月のお祭りが危ないと言われているので、その時を見て、次回の視察実行か中止かを判断します。

また、WHO（国際保健機構）の Healthy City プログラムがヴィエンチャンで始まっており、その中に学校保健教育を組み入れるようです。WHO のセミナーの経費一部をじゃつどに頼みたいとヴィエンチャン市保健局から申請がありました。郵政省からの資金は他との合同開催には使用できません。皆様からの会費や寄付などから使用させていただく事になります。どうか、よろしくお願いいたします。

学校での健康保健教育、そのための環境の整備という基本は変わりません。ラオス全国で、これから始まる学校保健教育とうまくつないでいきたいと考えています。南部で学校保健を始めた青年海外協力隊隊員、ヴィエンチャン医療学校の講師であるシニア隊員などと情報交換をしています。今年度は、ヴィエンチャン以外に広げていきたいと、ボケオ県、サヤブリ県でのセミナーも計画し

* * * * *

国内活動費は、当初の予算より事務費と通信費が赤字でした。事務費に関してはパソコン（じゃつどでは予算がなく帖佐会長の以前使用していたものを使用）のバージョンアップ代、ウィルスチェックソフト代など予想外の支出がありました。通信費に関しては本年度は会長がタイに滞在していた関係で電話、Eメール代などの費用が多くかかりました。また、昨年度までは電話を特別にじゃつど専用としては使用しておりませんでしたが、じゃつど専用

しました。

昨年の会計では、学校補修工事が大きいですが、郵政省からの資金で壁の無かった2校が、レンガの壁の学校になりました。会費からの資金で、タツルアンカン小学校に図書室ができました。屋根と床を作る資金は父母が用意して、昨年視察のときは床と屋根だけできていました。そこへ、壁、窓、ドア、書架を作りました。また、会長ラオス訪問の項目に入りましたが、図書を買いました。図書の選択と書架の作製には、日本の NGO シャンテのヴィエンチャン事務局にご指導いただきました。シャンテが開催する「図書管理のためのセミナー」に、この学校からも参加させてもらうことも決まりました。シャンテは子供達への図書活動をラオス全国で行っています。現地に事務所があり、ヴィエンチャンを訪問した会員の方と、何度も訪問させてもらっています。シャンテの図書活動にじゃつどの保健指導を少し組み入れられてもらえればと検討中です。現地で十分滞在できない“じゃつど”にとって現地にお住まいの他の NGO から、教わる事は多いです。

今年度は当初から視察派遣が延期になってしまい、全て遅れてしまっていますが、ラオス側からの期待も大きく、全ての計画が延期はあっても中止にはしたくないと思います。できる事をできる範囲で、やっていきます。

どうぞ、皆様、よろしく御指導ください。

（帖佐理子）

* * * * *

使用することになりNTTの基本料金支払いなどどうしてもいろいろな面で費用がかかります。あらためてボランティア団体の活動資金の難しさを痛感いたします。

12年度予算は、繰越金が少なく代表者負担と寄付金に頼るところが大きいのが現状です。

会員の皆様どうぞ、ご支援の程宜しくお願いいたします。（宮脇美智子）

第8回じゃっど定期総会後の酒井マリ氏（国際協力事業団）講演会の要約

演題：「ネパール不思議発見～青年海外協力隊の体験から」

ネパールの日用品に触ってみる。水を入れる壺のような入れ物、食べ物を刻む包丁みたいな道具、色鮮やかな民族衣装、不思議な文字のカレンダーなど。いったい何に使うの？どうやって使うの？日本とネパールの生活習慣や文化の違いが肌で感じられる。文化の違いは面白い。文化の多様性をみとめ、尊重することが大切だ。

一方、面白くない違いもある。例えば当たり前のように学校へ行ける日本の子供達と、貧しさのために教育の機会を奪われているネパールの子供達。国際協力は、このような違い一格差を無くしていこうとする活動の1つ。国際協力には様々なやり方があるが、その国の人たちの自立につながるような支援だなくてはならない。

ところで、ネパールの人たちの生活が豊かになるとはどういうことだろう。自家用車、テレビ、エアコンを手に入れること？地球上に住むすべての人が、今の私たちのような（物質的に）豊かな生活をすることは可能だろうか？本当の豊かさ、幸せとはなんだろう？

異文化を楽しむ国際交流、途上国の人たちを支援する国際協力、その先にあるのは、私たち一人ひとりが変わることではないだろうか。

地球市民としての自覚を持つこと。地球環境の課題—例えば環境、開発、人権、平和などの課題と私たちの地域、私たち自身とのつながりに気づき、解決するために身近なところから行動すること。

Think Globally、Act Locally。そのために、この鹿児島で開発教育、地球市民教育に取り組んでいきたいと思う。（写真は講演会風景；中央がネパールの日用品を持って説明する酒井氏）



* 紙面が限られているため上記のような短い要約になりました。もっと詳しくお聞きになりたい方など鹿児島国際交流協会にお問い合わせ下さい。

「1年半ぶりのラオスでの発見 — 『国際的な』ラオス」

(じゃっど会員) 阿部貴美子

4月に20日間ほど仕事でラオスに行きました。首都ヴィエンチャンで10日、南部のカムアン県とサバナケット県という二つの県で10日間滞在しました。前回訪問してから1年半しか経っていません新たな発見が幾つかありました。まず、首都ヴィエンチャンのメコン河沿いの整備が進んでいて驚きました。これは、1999年と2000年が「ラオス観光年」であるため、政府が整備したのでしょう。前回の訪問時には、自然のままの土手の上に運動会のテントのような簡単な作りのレストランが何件もあり、その周りにこれも簡単なテーブルとイスが並べてあり、そこでメコン河を眺めながらビヤ・ラオを飲むのが1日の終わりのぜいたくだったのです。しかし、今や土手は整備されて公園のようになり、遊具までありました。土手の脇の道路には、歩道がつけられ、道路から土手に車が進入しないようにコンクリートの車止めも出来ていました！レストランもプラスチックの観葉植物で飾るなどこざれいになり、英語の看板を出したり、メニューも英語版があったり、驚きの連続でした。

カムアン県とサバナケット県は、ヴィエンチャンから13号線というラオスで一番大きな国道を車で南にそれぞれ4時間、6時間程走った所にあります。地図上では、タイとベトナムに挟まれたラオスが一番細くなった部分のすぐ下のあたりです。この二つの県は、ベトナム側が山がちになっています（カムアン県では平地が半分以下です）。山は、ベトナム側に行くにしたがって険しくなっています。東西に走りベトナムへ抜ける道路の整備がとても遅れているために、山側では開発が遅れ、電気のない家もまだまだあります。学校、病院などの施設も不足しています。自然環境の実態も十分つかめていません。その例としては、カムアン県の北隣の県では1996年に新種の大型ほ乳類（シカ的一种）が発見されています。20世紀に見つかった新種の大型ほ乳類は二種類しかなく、その一つがこのシカです。しかし、サバナケット県の県庁所在地カンタブリーは、なかなか国際的で活気があります。険しい山を越えてベトナムから物資（中国製品）が運びこまれています。街にはベトナム人が住んでいて、物資を運んでくるトラックの運転手を相手に何件か食堂を開いています。店は、朝早くから夜遅くまでベトナム人でにぎわっています。私が夜の9時近くに街に着しました。日中、街なかではベトナム人の行商人が、中国製の双眼鏡や懐中電灯といった小物を肩に担いで売り歩いています。

二つの県からメコン河対岸のタイにも船で簡単に行くことが出来ます。ラオス側からはタイの建物がよく見えます。カンタブリーの船着き場の脇にラオス人のおばちゃん達がきれいな織物をたくさん持って次々に集まっているのを見かけました。きっとタイへ持っていくのだなあとと思ったのですが、その10日後に対岸のタイの街の市場でラオスの織物が大量に売られているのを目の当たりにしました。ラオス、タイ、ベトナムは様々な意味で「本当に近い、大切な隣同士」なのだと、島国育ちの私は感慨を持ちました。

* 今回じゃっど広報誌に原稿をおよせいただいた阿部貴美子氏は、1998年に帖佐会長とラオスを訪問。その後、たびたびお仕事でラオスを訪れていらっしゃいます。

平成 11 年度活動報告

1、スモールドクター・プロジェクト

1-1、12月、5月:健康診断・駆虫薬投与・ビタミン添加ミルク、文房具供与

対象校	トイレの有無	児童生徒
1) サムケ小学校	無し	170
2) フォントン小学校	あり	224
3) ドンヌン小学校	あり	216
4) ホンスパップ小学校	あり	256
5) カムノイ小学校	無し	182
6) バンドン小学校	無し	193
7) ノンコー小学校	あり	276
8) ノンサヴァン小学校	無し	75
9) アモン小学校	あり	225
10) タットルアンカン小学校	あり	288
健康診断合計 人・回		2,105

1-2、教師を対象にした学校保健セミナー（保健衛生の基礎知識、保健の教育法、実習）

2、水道、トイレ、学校建設

サムケ小学校、ホアクア小学校、ノンコー小学校

3、机いす募金

児童用、教師用計 186 セット、黒板をドンヌン、ノンコー、ホアクア小学校に配布

4、じゃっど活動視察

11月18日～25日 ラオス視察ツアー（小幡順子氏、中村律子氏、帖佐会長）

11月22日～31日 多々良友加利氏 学校保健視察および指導

12月30日～平成12年1月5日 野澤美香氏 学校の設備視察他

3月、4月、7月 会員（鮫島節子氏）他5名会長の現地訪問に同行他

3月 郵政省貯金局総務課ボランティア貯金推進室の現地視察

5、国内活動

7月24日 第7回じゃっど定期総会

8月16日 川内市国際ボランティア貯金推進協議会総会（じゃっど会員の久木野勲氏出席）

10月9日 郵政省主催国際協力講演会じゃっど活動報告（枕崎市民会館）

（じゃっど会員の山本恵美子氏が代表として講演、田中律子氏が補助）

10月20日～24日 パネル展（川内市隈之城のプラッセ大だいわ1階ホール）

「こんな暮らしもあるんだよ」をテーマに青年海外協力隊OB、じゃっどが作成展示

10月25日 10月25日号「広報せんだい」のグループ紹介に掲載

11月28日 ユースかごしま in 川薩にパネル参加（川内向田児童公園）

2月5日 ラオス視察報告会報告者：中村律子氏、小幡順子氏、多々良友加利（元青年海外協力隊）
オブザーバー：青山カンピュー氏（ラオス出身、鹿児島大学公衆衛生学教室研修生）

3月5日 国際保健医療学会（神戸大学）児玉知子（じゃっど会員、鹿児島大学公衆衛生学、医師）
野澤美香（じゃっど会員、元青年海外協力隊、看護婦）

3月9日 川内市郵便局主催「お客様の声をお聞きする会」で活動報告
（じゃっど副会長若松郁子報告）

5 月 10 日 伊集院ロータリークラブで卓話活動報告（じゃっど会員の古田宣稔氏が報告）

6 月 8 日 川内郵便局 郵政省国際ボランティア貯金に係る寄付金配分通達式

平成 11 年度会計報告

平成 11 年度 収支決算書 （平成 11 年 7 月 1 日～平成 12 年 6 月 30 日）

1 収入の部

前年度繰越	796,166
会員会費（2,000 円×155 人・年）	229,150
寄付	79,715
机・いす募金	267,500
郵政省国際ボランティア貯金寄付金	1,760,000
会長負担（旅費・滞在費・移動費・他）	506,834
雑収入	163,610
受取利息	483
計	3,803,458

2 支出の部

ラオス活動費

健康診断（現地人件費、交通費）	90,000
ミルク・文房具	324,497
医薬品	103,523
学校保健セミナー	157,000
学校校舎補修工事	1,070,366
学校備品（机・いす・黒板）	252,600
事務用品、教材用写真・ビデオ	5,167
印刷	60,000
写真、バッテリー	8,164
通信費	114,139
会合	10,000
スタッフ派遣	497,000
現地移動費	79,800
調査（会長ラオス訪問）、	262,289

計 3,034,545

国内活動費

広報	104,084
会合	16,341
写真	43,868
事務用品	108,765
通信費	130,662
開発教育	50,000
その他	36,275
計	489,995

支出合計 3,524,540

3、繰越

収入	3,803,458
支出	3,524,540
繰越	278,918

会計監査報告

平成11年7月1日から平成12年6月30日の期間のじゃっと（アジアの子供達を援助する会）の収支決算に関し、会計帳簿とその証拠書類および関係書類を監査した結果、確かに相違ないと認められましたので、ここに報告します。

平成12年8月8日

じゃっと（アジアの子供達を援助する会）

監事

安部良宣

平成12年度 事業計画

1. リトルドクター プロジェクト；健康診断ほか

対象：ラオス ビエンチャン市サイセタ郡の小学校8校の生徒と教師 約1,700名

内容：1) 健康診断；手、歯、心音、呼吸音、眼疾、皮膚、衛生に関する質問

身長・体重測定

2) 駆虫薬の投与；Mebendazol 500mg を生徒と教師全員に投与する。

3) ビタミン添加の牛乳200mlを配布

4) JADDOの学校保健セミナーを授業で活かしているかを教師に質問する。

教師からの健康に関する質問に答える。

5) トイレ、水の使用状況を見る。

6) 文房具供与

7) 救急薬品の補充

2. 健康保健教育；教師への学校保健セミナー

①校長を対象にした学校保健概要セミナー

②小学校5年生（最終学年）の担任を対象にしたセミナー

③学校保健教育の質の向上をめざすセミナー

日本の冬休みに日本の教師に、ラオスにおける保健授業の質の向上をめざしたセミナーをお願いしたい。（ラオスの安全度確認出来次第）

3. 学校の修復

4. 今後の活動範囲拡大について

学校保健教育は、ラオスで今始まろうとしている。JADDOができることは、これまでの経験からの知識を広く使ってもらうことであろう。教育を学校で続けられるよう、何をしたらいいのかをラオス人医師達とともに探したい。ボケオ県、サヤブリ県からの申請があり、活動の実行と報告をできる人材がいるので、これら2県でも開始、ヴィエンチャン特別市の方法を知ると同時に、ヴィエンチャン特別市での新しい展開への打開案がうまれることが期待できる。

5. 国内活動

活動：ラオスの活動支援、机・いす募金、広報発行、講演、総会開催、開発のための教育、（今年度は学校の教師への広報を積極的に行いたい。開発教育を行う。）

平成12年度予算

収入

前年度繰越し	278,918
会員会費	200,000
机いす募金	200,000
寄付	200,000
代表者負担	320,000
郵政省ボランティア貯金に寄る寄付金	1,097,000
計	2,295,918

1. 支出

リトルドクタープロジェクト (ラオスにおける学校保健事業)	1,922,000
国内広報	120,000
開発教育	100,000
他の NGO 連携	40,000
事務用品	45,000
総会 会場費、会議	17,000
通信費	40,000
予備費	11,918
計	2,295,918

【事務局からのお知らせ】

感謝の気持ちとともに、ご支援、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。(以下、敬称略)

■新規会員 (2000年6月～2000年7月)

愛甲勝 (川内市)、上原憲一 (出水市)、大熊昭晴 (東京都)、青山亨 (鹿児島市) 鮫島久志、鮫島節子 (千葉県)、酒井マリ (鹿児島市)

■平成12年度会費 (2000年7月～2000年8月)

若松あつ、橋口正美、橋口喜久、小倉邦子、小幡順子、三本釈世、渡辺裕子、横林宙世、児玉充敏、神崎侯至、枇杷繁、川野治美、若松郁子、帖佐理子、田中律子、若松大介、安部良宣、古田宣稔、佐藤章子、知識友弘、宮脇俊郎、宮脇美智子、久木野勲、仮屋洋子、永山ゆかり、牛ノ浜妙子、矢野千鶴子、関隆子、新原千恵子、安藤津儀江、是枝久子、庵地紘一、牧田弘子、竹田美浩、梅木多津子、岩月洋孝、岩月たち子、桑原道男、矢野信之、愛甲明実、中野育子、南修、吉満祐市、木場吉彦、愛甲勝、上野昌子、神彰男 (川内市)、馬場寛利、酒井マリ、貞方洋子、青山亨、鮎川睦子、松元美津子、桑原美智子、南武嗣、三重浩子、久木田泰子、米山史朗、夏越久美子、時村誠一、時村ヨシ、時村睦子、帖佐宗親、納光弘、坂上恵子 (鹿児島市)、尻無浜むつみ、小屋一美 (串木野市)、河野通子、中村律子 (出水市)、藤本英雄、上原憲一 (出水市)、太田有紀、松永武志 (阿久根市)、増田孝子 (姶良郡)、帖佐秀人、伊東正樹、黒江豊 (日置郡)、川添恵 (佐賀県)、河野章、伊瀬知倫子 (宮崎県)、園田義明 (長崎県)、岩崎岩男 (大分県)、中村武、杉原敏彰、山下

巖、姫野治子（福岡県）、白井恭子（広島県）、松尾敏明、熊谷銀次郎（兵庫県）、橋本晴美、濱田颯（大阪府）、野澤美香（岐阜県）、大月時子、斉藤洋史、森田由夫、高野真綾（埼玉県）、小池二郎（長野県）、宇津木和子、小林義郎、青山一正、茂木純子、高木史江、和地平十郎、宇田川国男、国田宏、松本貞治、大熊昭晴、大熊京子、松元力、松山容子、若松裕子、中村安秀、帖佐徹（東京都）、望月明子（神奈川県）、鈴木琴子（茨城県）、店網国二（栃木県）、前原よし、鮫島久志、鮫島節子（千葉県）、小濱千枝（仙台市）、鎌田到（北海道）

■ 寄付（机、いす募金）

ハートフル（株）、若松あつ、庵地紘一、竹田美浩、梅木多津子、渡辺裕子（川内市）、尻無浜むつみ（串木野市）、松永武志（阿久根市）、藤本英雄（出水郡）、貞方洋子、馬場寛利、帖佐宗親、帖佐久子、堀貫太郎、青山亨、時村誠一、時村ヨシ、時村睦子（鹿児島市）、田邊ツル子、和泊中学校生徒一同（大島郡）、川添恵（佐賀県）、姫野治子、中村武（福岡県）、若松裕子、小林義郎、鈴木忠夫、青山一正、大熊昭晴、大熊京子、宇津木和夫、宇津木和子（東京都）、前原よし（千葉県）、店網国二（栃木県）、山中綾子（愛知県）、

■ 寄付（現金）

松元力、大熊昭晴、大熊京子（東京都）、姫野治子（福岡県）、尻無浜むつみ（串木野市）、岩月洋孝、岩月たち子（川内市）、匿名希望（出水市）

■ 寄付（官製はがき、じゃっど広報誌郵送用の封筒）

尻無浜むつみ（串木野市）

■ ボランティア協力（じゃっどしおり作成、じゃっど総会資料準備など）

小幡順子、佐藤章子（川内市）

* 広報誌（6月27日号）でお名前の記載もれがありました。おわび申し上げます。（敬称略）

11 年度会費納入 愛甲勝、毛布の寄付金 横林宙世、寄付（現金）牛之浜妙子、

* 広報誌（6月27日号）に年会費振込用紙をおくらせていただきました。まだ、平成12年度年会費（2000円）を納入されていない会員の皆様は、できましたら9月中旬に納入をお願いします。

* 机椅子募金は募集中です。郵便局窓口の払込取扱票（手数料 70 円）をご利用下さい。

～～ 納入方法（いずれかの方法をお願いします） ～～

1, 郵便振替 口座番号 02050-2-4746

口座名称 じゃっど

2, 現金払い 若松記念病院となり寿泉堂じゃっど事務局まで

3, 会費自動引き落とし 郵便貯金口座

平成12年度会費は、8月30日引き落としで終わりました。これから手続きされる方は、平成13年度会費（引き落とし日は8月30日）からとなります。

【事務局からのお願い】

◆ ボランティア募集：当日お手伝いしていただけますか？ お気軽に事務局までご連絡下さい。

① 「ボランティア貯金報告会」に帖佐理子会長が講演します。

日時；10月7日（午後1時30分～午後3時30分）

場所；宮崎県高鍋町中央公民館にて

② 「純心大学学園祭」に参加予定です。企画の段階からお手伝いしていただける方を募集中です。

日時：10月28日～10月29日 場所：川内市天辰町純心大学構内

- ③「かごしま地球人まつり2000」(財団法人鹿児島県国際交流協会主催)に参加します。パネルによるラオスの様子、活動紹介、ラオスの布の展示、販売等です。1日2時間程のお手伝いで結構です。

鹿児島市内の会員の皆様はぜひご協力お願いいたします。

日時; 11月18日~11月19日(午前10時~午後4時) 場所; 鹿児島港本港区中央緑地(Bゾーン)

- ④「国際協力講演会」(川内市国際ボランティア貯金推進協議会、国際ボランティア貯金普及協会主催)に帖佐理子会長が講演します。

日時; 11月29日(土) 午前10時~午後1時

場所; 鹿児島県川内市国際交流センター

*上記のように10月、11月はイベントがたくさんあります。当日お手伝いは無理でも、会員の皆様、是非近くの会場でのイベントにおいで下さい。宜しくお願い致します。

* じゃっど広報誌編集のお手伝いをして下さる方を募集しています。(宮脇まで)

《イベント情報》 鹿児島県国際交流協会のイベントをお知らせします。

10月14日(土)第6回かごしま国際理解講座(国際協力県民講座)

時間: 15:00~17:00

場所: 鹿児島県国際交流プラザ

講師: 大橋正明氏(恵泉女学園大学人文学部国際社会文化学科助教授)

演題: 「コソボ難民救済に従事して」 ~六万人の難民への食料配給~

世界の火薬庫と呼ばれるバルカン半島で、昨年90万人のアルバニア系住民が難民化し、ユーゴスラビアのコソボ自治区から周辺のアルバニアなどに流入しました。この難民に対して、国連高等弁務官事務所やNGOが緊急救援を行ないました。難民救援は、短い時間に大量の物資を確実に届ける必要があります。今回は、アルバニアのある地域に滞在する六万人の難民への食料配給を担当した経験をお話しします。

受講料/無料 定員/40名

申し込み、問い合わせ/ TEL, FAX 又は Eメールで申し込む

TEL: 099-225-3279 FAX: 099-225-3284

Eメールアドレス: kia@po.synapse.ne.jp

じゃっど事務局

電話; 0996-27-0193

ファックス; 0996-27-0193

e-mail asianoko@ml.satsuma.ne.jp

鹿児島県川内市神田町11-20 若松記念病院内

会長 帖佐理子 事務担当 宮脇美智子

■会場マップ

